

(別紙 16) 団体むけ〈炊き出し/物資配布〉

## ボランティア活動時の感染症予防のために

### 〈炊き出し/物資配布〉

炊き出し/物資配布は被災したひと達の命や生活を支えるために大切な支援ですが、多くの住民が集まる可能性があるため、感染拡大のリスクが高まります。また、参加する住民に高齢者等ハイリスク者が多く含まれるため、感染対策はより厳重に行う必要があります。

リスク分類	ボランティアと地域住民の接触	地元住民同士の接触	ボランティア同士の接触	ハイリスク者の関与	リスク評価
屋外(接触)	中	高	中	高	高

### 〈活動に入る前〉

#### ○ 活動現場での感染経路を絶つ対策を事前に検討しておく

- 配布/食事会場が3密にならないよう計画段階で検討しましょう
  - ・列を作る場所を工夫する
  - ・列整理担当を決める
  - ・時間差を作る
  - ・注意喚起の掲示物を用意する
  - ・食事/休憩時の着座位置を決めておく
  - ・物資/食事の陳列方法を工夫する
  - ・室内の場合は換気する
  - 等
- 接触感染が起きないように配付/配膳方法を検討しましょう
  - ・受付時に全員手指消毒/検温ができるように備品を準備しましょう
  - ・個別配膳できるよう準備しましょう
  - ・原則使い捨て食器を利用しましょう  
(食器が足りない場合はラップで包んで使用し、ラップを使用毎に廃棄)
- 炊き出し衛生マニュアル (<http://www.jshe.jp/project/takidashi.pdf>) 等を読んで、炊き出しにおける一般的な衛生管理方法を習熟しておきましょう

### 〈活動中〉

#### ○ 食品・調理具・食器、配付物資の汚染を防ぐ

- 食品や食器は地面/床から(目安は30cm以上)離して保管しましょう
- 積み下ろし作業する前に手指消毒及びマスクを付けて作業しましょう

○ 調理/配膳スタッフの衛生対策

- 調理/配膳はマスク、帽子または三角巾、清潔な衣服、使い捨て手袋等衛生に配慮した服装で、健康に問題のないスタッフで行いましょう

○ 来場者に手指消毒とマスク着用、検温を徹底し、連絡先を取得する

- 受付で手指消毒できるよう準備すると共に、マスクの着用を呼びかけて検温を行いましょう（マスクを忘れた方には予備を提供しましょう）
- 検温時に37.5℃を越える方、体調不良の方が来場した場合は参加を断り、帰宅して医療機関で受診するよう伝えましょう
- クラスタ対策のため氏名と連絡先（携帯電話番号等連絡を取る方法）を書いてもらいましょう（目的を伝えて協力を呼びかけましょう）
- 声かけは事前に録音したものを流す等工夫しましょう（音量が大きすぎると来場者の声も大きくなり逆効果なので気をつける）
- 会場が密にならない様、受付で人数の調整を行いましょう

○ 食事/休憩スペースの密を回避する

- 食事や休憩のためのスペースは着座位置を指定する等、間合いが取れるように工夫しておきましょう
  - ・座席の間隔をあける
  - ・同じ方向に向いて座る
  - ・互い違いに座る等
- マスクを外している間は話さないよう呼びかけましょう
  - ・注意喚起の掲示物
  - ・録音音声による呼びかけ等（マスクをしていても長話をしていれば周りの人が不安になります。その場合は離れた場所に移動してもらいましょう）
- 音楽や呼びかけは音量に気をつけて来場者が大声にならない様にしましょう

○ 片づけ時の感染リスクに気をつける

- 食べ残しや使い捨て食器等のゴミを扱う際は必ず手袋・マスク・エプロンを付けて行い、処理後は手袋・マスク・エプロンを廃棄して手指消毒を徹底しましょう

<活動後>

○ 帰路での3密回避

- 疲れから集中力が低下しやすいので帰宅までの感染対策を再確認して解散しましょう
- 夕食時/入浴施設等を利用する際も3密回避を意識しましょう